

原三溪没後80周年記念 三溪園×横浜美術大学

# 三溪園と日本画の作家たち

園内で2会場に分かれての展示となります。両会場が観覧可能な期間は

2019年8月3日(土)～8月18日(日)となります。

- ・三溪記念館 展示：7月12日(金)～8月18日(日)
- ・鶴翔閣 展示：8月3日(土)～8月18日(日)

開園時間＝9:00～17:00(入園は16:30まで)

三溪園入園料＝大人 ¥700 / ども(小・中学生) ¥200

10名以上の団体料金＝大人(¥600) / ども(小・中学生) ¥100

休園日＝会期中無休

主催：学校法人トキワ松学園 横浜美術大学 共催：公益財団法人三溪園保勝会

会場：三溪園(三溪記念館/鶴翔閣) 観覧料：無料(入園料は別途)

出展：三溪園所蔵作品(下村観山、横山大観、安田靉彦、速水御舟、今村紫紅ほか)  
越智波留香(横浜美術大学絵画研究室助手)

景聴園(上坂秀明、合田徹郎、服部しほり、松平莉奈、三橋卓)

企画：三溪園、横浜美術大学、景聴園(乃村拓郎、古田理子)

## 関連企画 (会場はいずれも鶴翔閣内)

### ワークショップ「三溪園の画帖をつくらう！」

8/3(土) 11:00-12:00 / 13:00-14:00 / 15:00-16:00 定員：各回 15名程度

三溪園の風景をあしらった古い本の形式の一種である「画帖」を作り、今日の思い出を描き込んでみましょう。

講師：越智波留香

参加費：300円(材料代)\*入園料は別途必要

### ワークショップ「みんなで大作に挑戦!～孔雀明王ぬり～」

8/11(日) 10:00-16:00の間で随時受付(一人30分程度) 定員：なし

岩絵具を使って大作ぬりえに挑戦!岩絵具に親しんでもらうとともに、三溪園で大作に挑んだ横山大観らの制作を体感してもらいます。

講師：景聴園(上坂秀明、合田徹郎、服部しほり、松平莉奈)

参加費：無料 \*入園料は別途必要

### 講演：「観山之間 四季草花図」の復元 - 三溪と観山が描いた理想空間 -

8/10(土) 11:00-12:00

越智波留香(出展作家/横浜美術大学絵画研究室助手)

ゲスト：荒井 経(東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室教授)

聴講：無料\*入園料は別途必要 定員：先着30名

### 出展作家によるギャラリートーク

8/10(土) 13:00-14:30

越智波留香、景聴園(上坂秀明、合田徹郎、服部しほり、松平莉奈、三橋卓)

聞き手：森山貴之(本展企画/横浜美術大学美術学部美術・デザイン学科准教授)

ゲスト：荒井 経(東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室教授)

聴講：無料\*入園料は別途必要 定員：先着30名

## 横浜美術館との相互割引

7/13(土) -9/1(日)

三溪園の入園チケット提示で、横浜美術館の「原三溪の美術—伝説の大コレクション」展の当日観覧料が300円割引に、また横浜美術館「原三溪の美術」展チケット提示で、三溪園の入園料が100円割引となります。 ※ほかの割引との併用不可。

## アクセス

国指定名勝 三溪園  
SANKEIEN GARDEN

〒231-0824

横浜市中区本牧三之谷 58-1

TEL045-621-0634・5

http://www.sankeien.or.jp

58-1, Honmoku-sannotani,

Naka-ku, Yokohama City 231-0824

◎交通アクセス

・JR根岸線根岸駅からバスで10分、「本牧」下車、徒歩10分

・横浜駅東口からバスで35分、「三溪園入口」下車、徒歩5分

・桜木町駅からバスで25分、「三溪園入口」下車、徒歩5分

・みなとみらい線元町・中華街駅4番出口の「山下町(タワー入口)」

からバスで15分、「三溪園入口」下車、徒歩5分

・横浜駅東口からふり三溪園BUSで45分、「三溪園」下車すぐ

国指定名勝

三溪園

SANKEIEN GARDEN



横浜美術大学  
YOKOHAMA UNIVERSITY OF ART & DESIGN



景聴園



beyond  
2020

名勝で  
今と昔の  
日本画を  
見る。



原三溪没後80周年記念  
三溪園 × 横浜美術大学

# 三溪園と日本画の作家たち

2019年 8月3日(土)～8月18日(日)

三溪記念館の展示は 7月12日～8月18日

開園時間 9時～17時(入園は16時30分まで)



原三溪没後八十周年記念展として、三溪園と現代若手日本画作家たちのコラボレーションによる展覧会を開催いたします。生糸貿易で成功を収めた実業家であった原三溪は、明治三十年、日本美術院を中心とした作家たちを積極的に支援します。今も三溪園に残る鶴翔閣は、横山大観や下村観山、前田青邨らが滞在制作を行い、また三溪が収集した古美術を作家とともに鑑賞し研究しあつたサロンでもありました。本展はそのような三溪園の歴史に着目し、その意義を現代につなぐ展覧会です。

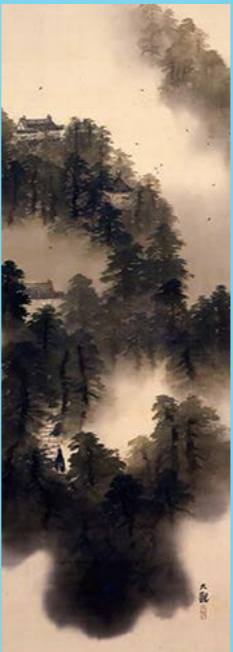
## 原三溪と近代日本画の巨匠たち

三溪記念館 第1・第2展示室

### 三溪

#### 原三溪が支援した作家たち

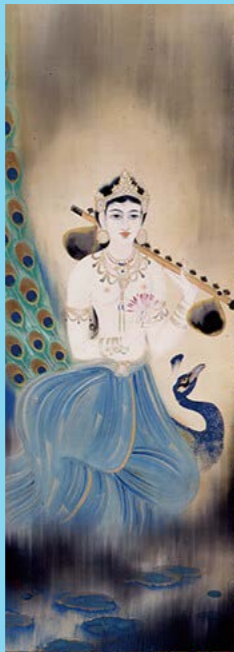
原三溪が支援した作家の作品、約三十点を紹介。



横山大観 [煙寺晚鐘]



今村紫紅 [秀吉詣白旗宮図]



荒井寛方 [孔雀妙音]



下村観山 [漁夫図]



速水御舟 [寺の径]

展覧会は三溪記念館と鶴翔閣を会場に、3つの展示から構成されます。まず三溪記念館第1・第2展示室では近代日本絵画史に名を連ねる作家たちの作品を中心に、三溪園の果たした近代日本画への貢献について紹介いたします。同館の第3展示室では、関東大震災によって消失してしまった松風閣の障壁画、下村観山《四季草花図》の復元画(越智波留香)を展示致します。越智は、残された記録資料や観山の日記、作品群などから、丹念に構図や表現そして観山の絵画精神を読み解き、往時の華やかな絵画空間を再現します。

## 現代の作家たち

鶴翔閣

### 景聴園 + 越智波留香

Reload: 日本画をリロードする。

明治三五年、西洋化が進む時風の中で、壮大な和風建築「鶴翔閣」は建てられました。当時、鶴翔閣に集った作家の見ていた景色とは、日本画とは。現代の作家たちが今再び、日本画を読み込みます。



服部しほり [寒山拾得図]



上坂秀明 [ナゾキヤマ]



合田徹郎 [火の夢]



三橋卓 [茶話会 trip]



松平莉奈 [菌菌先生]

三溪記念館第3展示室

### 下村観山 《四季草花図》 復元画

制作 越智波留香

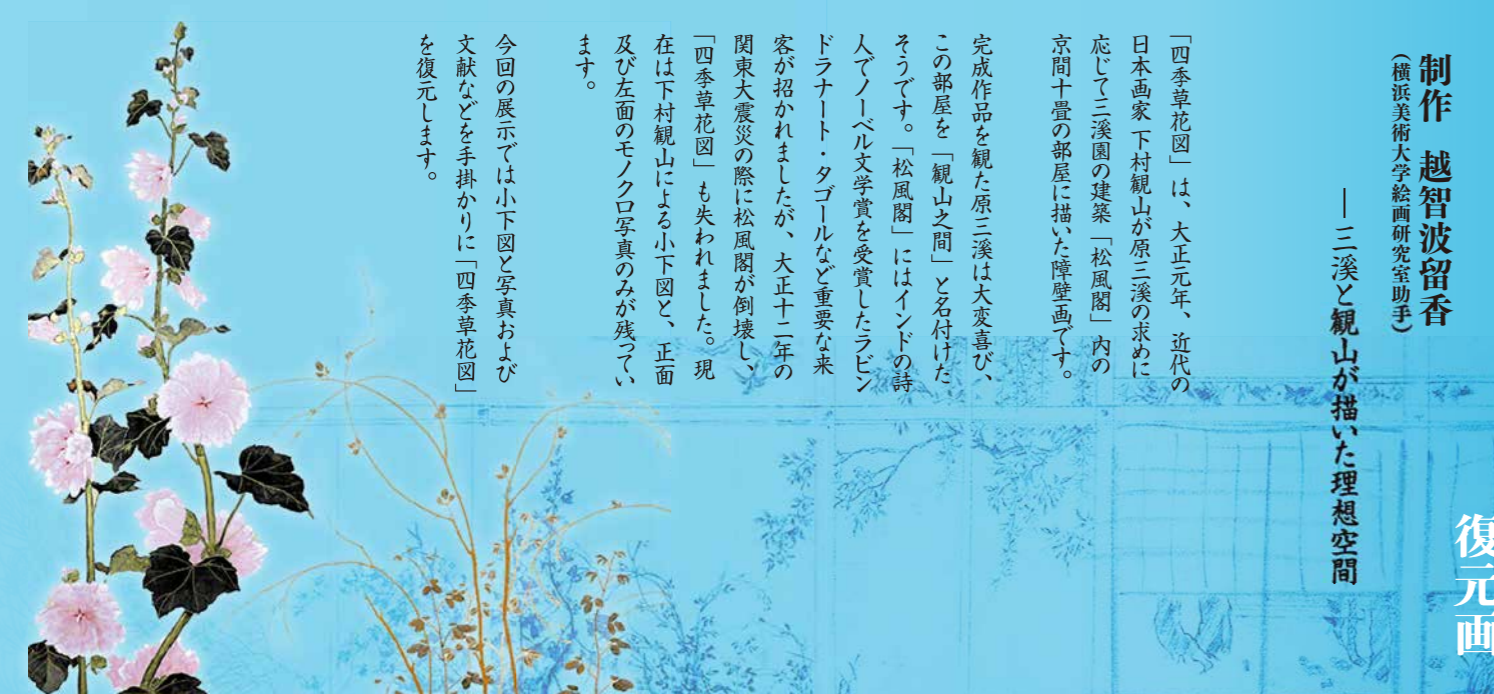
(横浜美術大学絵画研究室助手)

— 三溪と観山が描いた理想空間

「四季草花図」は、大正元年、近代の日本画家下村観山が原三溪の求めに応じて三溪園の建築「松風閣」内の京間十畳の部屋に描いた障壁画です。

完成作品を観た原三溪は大変喜び、この部屋を「観山之間」と名付けたそうです。「松風閣」にはインドの詩人でノーベル文学賞を受賞したラビンドラナート・タゴールなど重要な来客が招かれましたが、大正十二年の関東大震災の際に松風閣が倒壊し、「四季草花図」も失われました。現在は下村観山による小下図と、正面及び左面のモノクロ写真のみが残っています。

今回の展示では小下図と写真および文献などを手掛かりに「四季草花図」を復元します。



Keicho-en — 景聴園 日本画を通して絵画のあり方を見つめ、描くことを志向するグループです <http://www.keicho-en.info/>



松平莉奈 [菌菌先生]



三橋卓 [茶話会 trip]



合田徹郎 [火の夢]



上坂秀明 [ナゾキヤマ]



服部しほり [寒山拾得図]